



未就学の部

平成 21 年 11 月号 NO. 8

日に日に寒さが増してきており、街頭沿いのイチョウの木や 山々の木々が少しずつ赤や黄色の葉に姿を変えていく季節となりましたね。常緑樹や落葉樹のコントラストが本当に美しく「ほっと」気持ちの中にゆとりができ自然の力に元気をもらっています。

季節を感じる心のゆとりはもっていたいものです。そしてちりゆく葉や落ち葉を楽しみながら冬の訪れを待つのもいいですね。

さて、このところの急激な気候の変化と、世界で騒がれているインフルエンザによってつぼみでも体調を崩しているお子様が

目立ってきました。体調管理に十分気をつけていくと共に、予防策として部屋の換気・手洗い・消毒を習慣化して本格的なインフルエンザ到来に備えたいと思います。



今月のすがた

『かわったねえ～』 10月のつぼみ、未就学のクラスでは「かわったねえ～」という言葉が沢山聞かれました。そう言っている顔は何故かみんな笑顔。何が変わったのか……!?

〔その1〕 戸外活動の日、仲良く手をつないで出発です。だんだんと公園が近づいてきて「あっ、葉っぱがあかいよ!」「ほんと、黄色いのもあるよ!」「きれいな葉っぱが落ちてるよ!」「君の顔より大きいねえ」「どんぐりも!」紅葉の季節、外に出ると色々な変化に気がつきます。お砂場に座り込んでの砂遊び、さらさらの砂をカップに詰めると砂が固まってプリンの出来上がり、お隣では幼稚園の子が大きい砂山を作っています。五感をいっぱい使って、変化を楽しみました。



〔その2〕 ご飯を炊いて、今日は調理実習の日。炊けたご飯をつぶして平たくしてオーブントースターで焼きます。お醤油を塗って「わぁ、いいかおり」ごはんせんべいの出来上がりです。ふだん食べているご飯とは違ってカリカリ、ごはんがおせんべいになるなんて不思議。次の調理実習の日。カボチャをつぶして生地と混ぜます。とろとろの生地をこぼさないようにカップにそ~っとそ~っと入れます。蒸したら、あら不思議!ふわっふわっのパンキンケーキに変身です。かわったねえ～



おいしそう！変化に驚きつつやっぱ食いしん坊の子供達です。

〔その3〕 もうすぐハロウィン。制作活動の日。子供達は何を作るのかなぁと用意される材料をジーっと見ています。大きな新聞紙を折ったり開いたり、小さな手で一生懸命作業をしていきます。色を塗ったりシールを貼ったり。次に、隣の部屋から大きな姿見を持ってきて、さあ変身開始です。冠にベスト、ベルト、長靴。鏡を覗き込んでは何だか嬉しそう。くるっと回ったり、ポーズまでとっています。子供は変身物が大好き？ですよね。気分はすっかり王様かレンジャーか。子供達が鏡の前でおめかしした気分、変身した気分を味わっているのを見ていて、「格好をつける・おしゃれをする・きちんとする」は小さな子であっても大

事なことで、それに気がつくように大人がちょっときっかけを作ってあげることが大切、と思いました。つぼみに来る前に鏡をそとのぞいてニッコリチェック！家の中 外（社会）の気持ちの切り替えがうまくできるかもしれませんね。



〔その4〕 「ちゃん最近かわったね～」これは職員とお母さん達との話でよく聞かれた言葉。つぼみに来始めたころから比べて、どの子もいろいろな変化を見せています。自立歩行が上手になったり、食事が自分で取れるようになったり、泣きが少なくなったり、発語が増えてきたり。そんな話をするお母さんも職員は笑顔です。昔を懐かしがっているのではなく、今、そして次のステップを見ているような気がします。「かわったね～」一人ひとりとは同じ歩みでなく、進む方向も違うかもしれません。ちょっとばかり後戻りも...でも、日々、かわっていく、進んでいこうとする子供達、ご家庭の皆さんとともに温かく見守って一緒に進んでいきたいと思っています。

Kのひとこと

さよなら大石先生。

Kの一言では、職員紹介をしてきました。今日は、悲しい報告を兼ねて紹介します。

若いのにどこか年寄り臭い大石先生。学生時代は東京で暮らしていたはずなのに、田舎臭い大石先生。入社面接では大きな目をキョロキョロさせて、意気込みを感じさせた大石先生。出掛けると子ども以上に自分が楽しんでしまう大石先生。通勤は自転車で30分なのにバスで1時間半。選んだのはバス通勤の大石先生。就職二日目にして、メガネが破壊された大石先生。子どもの人数点呼の時に自分も数に入れてしまう大石先生。自分の歓迎会に欠席してしまった大石先生。家庭の都合で、12月にアメリカに留学することになったのに11月30日まで、働きたいと最後まで気を抜かない大石先生。

今までのつぼみの職員にはない、特別な暖かさのある大石先生が、11月30日でお別れとなります。Kは悲しく、寂しく思う。いろいろな人と出会い。そして、別れを経験してきたけど、Kの最近の夢は、大石先生の結婚式でのスピーチだった。かなりショックが大きい。でも、彼女と過ごせた子どもたちも、短い時間だったけど幸せだったと確信しています。「出会いと別れ」を多く経験してきましたが、悲しい、寂しいと言ってもらえる大石先生も幸せだと思います。

大石先生、門出です。笑顔で出発してください。